北海道教育大学附属札幌小・中学校　特別支援学級（ふじのめ学級）

研究主題　「よりよい自分」に出会える学窓を目指して
～小・中学校の９カ年を見通した教育課程の編成～

研究１年次（令和５年度）	研究２年次（令和６年度）	研究３年次（令和７年度）	研究４年次（今年度）	研究５年次（最終年度）
☆ふじのめ学級の児童生徒に身に付けてほしいコンピテンシーの検討 ●学習指導要領と学級独自に設定する資質・能力を組み合わせた教科等横断的な視点に立った単元開発 ●学級独自に「つながる力」を定め、段階表を作成	☆「つながる力」段階表を活用したアセスメントの実践 ●小中一貫した視点での単元開発（災害等への緊急時に対応する力に関する実践） ●コンピテンシーベースで各行事を捉え直し、単元案の作成 ●学習内容や育成を目指すコンピテンシーの整理	☆学習活動の中で重点を置くコンピテンシーを定めて単元開発を実施 ●コンピテンシーに主眼を置いた教科等の学習内容、合わせた指導に関する単元案の作成	☆学習活動との関連を踏まえた自立活動に関する単元案の作成 ●コンピテンシーに主眼を置いた自立活動に関する単元案の作成 ●単元、行事、自立活動の学びの関連性の整理 ●従来の年間指導計画の見直し及び改定	【計画段階】 ●コンピテンシーベースの単元開発に基づいた、小・中学校９カ年を見通した教育課程の編成 ●これまでの実践に関する教育効果の検討

構　想　・　立　案　→　実　践　・　検　証　・　改　定　→　整　理　・　総　括

これまでは、教師が学習を通して児童生徒に身に付けてほしい資質・能力を明確にした実践を行ってきました。

今年度は、「児童生徒がどのように自己を認識し、活動を通して変容を遂げているのか」という内面的な育ちとコンピテンシーの関係を整理し、「自分」という視点をより具体的に捉え、従来の年間指導計画の改善に取り組みます。